令和 6 年度(2024 年度)小中高生の外務省訪問
(7 月分)

令和 6 年 10 月 3 日

●東京都　私立三輪田学園中学校(令和 6 年 7 月 3 日)
講　　師: 諸橋忍 アフリカ部アフリカ第一課 課長補佐
開 催 形 式: 対面

●東京都　私立ドルトン東京学園中等高等学校(令和 6 年 7 月 11 日)
講　　師: 髙木勇歩 アフリカ部アフリカ第一課 主査
開 催 形 式: 対面

●神奈川県　私立聖セシリア女子中学校（令和 6 年 7 月 18 日）
講　　師：内野友梨 アフリカ部アフリカ第一課 主査
開 催 形 式：対面

●岩手県　私立盛岡中央高等学校附属中学校（令和 6 年 7 月 25 日）
講　　師：奥濱裕子　国別開発協力第三課 主査
開 催 形 式：対面

●東京都　足立区立第十四中学校（令和 6 年 7 月 25 日）
講　　師：髙木勇歩 アフリカ部アフリカ第一課 主査
開 催 形 式：対面

●茨城県　県立並木中等教育学校（令和 6 年 7 月 29 日）
講　　師：鵜澤ひかる アフリカ部アフリカ第二課 主査
開 催 形 式：対面

●香川県　高松市立高松第一高等学校（令和 6 年 7 月 31 日午前・午後）
講　　師：國金栄江 アジア大洋州局中国・モンゴル第一課 課長補佐
開 催 形 式：対面

参加生徒からの感想（抜粋）

- 外務省を見学できて嬉しかった。ニュースに外務省が出たら「学生時代に訪問したなぁ」と大人になっても思える経験ができた。記者会見室が印象に残った。

- 職員による海外での活動の話が印象に残り、海外に関する関心が持てた。国際情勢に関係するグローバルな仕事に就きたいと思った。

- 在外公館で働く人は遠い存在と感じていたが、職員から「生の声」を聞くことができ、外務省の仕事をより身近に感じ、興味を持った。

先生からの感想（抜粋）

- 通常は入る機会のない国際会議室を見学でき、実際に働いている職員の話をたくさん聞けて、生徒達にとって良い経験になった。外務省を目指す生徒には、仕事のイメージが湧いたと思う。

- 職員から、経験を含めた具体的な話を聞くことができて、生徒達の理解と関心が高まったと考える。生徒達は、アフリカの衣装などを試着できて喜んでいた。